

日 時 : 平成 23 年 1 月 25 日 (火) 16 : 15 ~  
場 所 : 琉球大学医学部附属病院がんセンター 構成員 : 7 名 出席者 : 5 名  
賀数保明 (沖縄県衛生環境研究所)、比嘉初枝 (県立中部病院)、平安政子 (那覇市立病院)、  
安里邦子 (中部徳洲会病院)、仲本奈々 (琉大病院がんセンター)、増田昌人 (琉大病院がんセンター)  
陪席者 : 南文乃 (琉球大学医学部附属病院がんセンター)  
欠席者 : 照屋勝 (北部地区医師会病院)

## [報 告]

1. 平成 22 年度第 8 回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨 (資料 1)  
平成 22 年度第 8 回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。
2. 地域がん登録集約研修について  
部会長賀数保明より地域がん登録集約研修について報告された。
3. 院内がん登録をはじめめるにあたっての研修会について  
諏訪委員より、2010 年 12 月 27 日に沖縄病院にて院内がん登録をはじめめるにあたっての研修会が行われたことが報告された。

## [協 議]

1. 平成 22 年度事業計画の評価について (資料 2)
  1. 地域がん登録へ協力する医療機関数を増やす。(8 点)
  2. 拠点病院以外への院内がん登録の普及を図る。(8 点)
  3. 沖縄県の地域がん登録および拠点病院の院内がん登録の強化を図る。(10 点)
  4. 院内がん登録研修会を企画開催する。(10 点)
  5. 院内がん登録および地域がん登録の定期開示を行う。(5 点)
  6. がん登録部会の活動を学会等で報告する。(10 点)
  7. 施設の登録患者の生存率を計測する。(1 点)
  8. 予後情報を沖縄県地域がん登録情報より抽出できるよう働きかける。(10 点)
  9. 厚生労働省科学研究 (第三次対がん総合戦略研究)「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班 (主任研究員西本寛) の Collaborative staging の研究に協力する。(2 点)
  10. 厚生労働省がん臨床研究「医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究」班 (主任研究員祖父江友孝) の QI 研究に協力する。(2 点)新たに、上記の 2. 5. 7. 9. 10 を評価した。次回がん診療連携協議会資料とすることとなった。
2. 平成 23 年度事業計画について (資料 3)  
賀数部会長が行っている、地域がん登録関連研究である祖父江班や井岡班の研究に協力していることも事業計画に加えることとなった。
3. 第 4 回がん登録研修会について (資料 5)  
2011 年 2 月 19 日 (土) に予定していた第 4 回がん登録研修会は、日程を変更し 3 月の 5 日に開催することとなった。案内文書やポスターの作成など進めることとなった。
4. 次回の開催日程について  
次回は 2011 年 2 月 22 日 (火) に開催することとなった。
5. その他

平成22年度10回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨  
(平成22年度西本班祖父江班(CS研究、QI研究)事前打ち合わせ議事要旨)

日時 : 平成23年3月6日(日) 16:00~19:00

場所 : 琉球大学医学部附属病院がんセンター

出席者 : 10名

西本寛(国立がん研究センター)、江森佳子(国立がん研究センター)、東尚弘(東京大学大学院公衆衛生)、仲村文明(京都大学大学院医療疫学)、比嘉初枝(県立中部病院)、平安政子(那覇市立病院)、喜友名正也(中部徳洲会病院病理部)、安里邦子(中部徳洲会病院)、仲本奈々(琉大病院がんセンター)、増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠席者 : 照屋勝(北部地区医師会病院)

[協議]

1. 「医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究」班(主任研究員祖父江友孝)のQI研究への協力について

平成23年5月から、琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院、中部徳洲会病院の4施設でQI短縮版の実測を開始予定との報告があった。沖縄では、胃癌と大腸癌を対象とすることになった。対象症例の作成は、2007年院内がん登録データより行うが、拠点病院でない中部徳洲会病院については、拠点病院と同様に2007年院内がん登録データを国立がん研究センターに提出し、そのデータから対象症例を抽出することとなった。QI実測に使用するPCは研究班から各施設に送付されることになった。データの提出については、ネットワーク経由で直接サーバに登録できる方法をテストし、不可能だった場合はCDROM等での提出を検討する。

1. 「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班(主任研究員西本寛)のCollaborative staging研究への協力について

Collaborative staging研究は、QI研究と時期をずらして開始することになった。各施設で研究協力の手続きを進めるため、早い時期に研究計画書とCollaborative stagingの翻訳を作成する必要があるとの意見があった。両研究を開始するにあたって、平成23年5月~6月に沖縄で研修会を開催するよう予定との報告があった。

2. その他

平成22年度11回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨  
(平成23年度がん登録部会事業計画再構築作業議事要旨)

- 日時 : 平成23年3月7日(月) 9:00~12:00  
場所 : 臨床研究棟 1階 大学院大セミナー室  
出席者 : 10名  
嘉数保明(沖縄県衛生環境研究所) 比嘉初枝(県立中部病院)、平安政子(那覇市立病院)、  
安里邦子(中部徳洲会病院)、仲本奈々(琉大病院がんセンター)、増田昌人(琉大病院が  
んセンター)  
欠席者 : 照屋勝(北部地区医師会病院)

[協議]

1. 平成23年度がん登録部会事業計画再構築について

沖縄県のがん登録に関する5つの課題が出された。

- ・地域および院内がん登録を実施するための情報提供体制の強化
- ・地域がん登録作業の労に対する、医療機関への情報還元体制の整備
- ・地域および院内がん登録実務者のレベルアップ
- ・より詳細な院内がん登録の実施
- ・がん診療の質の把握

この課題を解決するために、がん登録部会では担当する分野目標を「がん対策の計画をするための基礎データが整って、活用されている」とした。この目標を達成するために以下の施策を立案した。

- 【施策1】 沖縄県内の地域および院内がん登録の実施状況を公開する。
- 【施策2】 地域および院内がん登録を始めるにあたっての説明会を開催する。
- 【施策3】 地域および院内がん登録の実施を義務化する。
- 【施策4】 地域がん登録情報の定期開示の方法を改定する。
- 【施策5】 生存率(疾患別、施設別)を公開する。
- 【施策6】 沖縄県内でがん登録研修会を企画・開催する。
- 【施策7】 国立がん研究センターの実務者研修に参加する。
- 【施策8】 拠点病院において5大がんで米国のcollaborativestaging登録を行う。
- 【施策9】 拠点病院においてがん診療の質の評価を行う。

それぞれの施策に目標とその指標を設定し、目標達成率をわかりやすくした。今回作成した事業計画シートを基に、担当やスケジュールなどを加えて、施策ごとの施策カードを作成することとなった。

2. その他

次回は平成23年4月19日(火)に開催することとなった。

## 平成23年度1回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

日時：平成23年4月19日（火） 15:00～17:00

場所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

出席者：8名

阿波根彩子（沖縄県）、桑江なおみ（沖縄県）、比嘉初枝（県立中部病院）、安里邦子（中部徳洲会病院）、照屋勝（北部地区医師会病院）、宮里貴子（北部地区医師会病院）、増田昌人（琉大病院がんセンター）、仲本奈々（琉大病院がんセンター）

欠席者：平安政子（那覇市立病院）

## [報告]

1. 平成22年度第11回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会（資料1）  
（事業計画再構築作業報告）

平成22年3月7日に4名の外部有識者をお呼びして、沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会の事業計画再構築作業が行われたことが報告された。

## [協議]

1. 平成23年度事業計画について（資料2）

平成23年3月7日に行われた事業計画再構築作業で協議した事業計画案の検討を行い、以下の点を修正した。

- ・施策1のアウトプットに院内のみならず地域がん登録の実施調査も加える。
- ・施策3のアウトプットの14施設を12施設に訂正。
- ・対策項目3の実務者のレベルアップの対象に地域がん登録実務者も含める。
- ・施策9のCS登録については、対策項目3の実務者のレベルアップから外す。
- ・施策5と施策6のアウトプットは次回部会で再検討する。

2. 平成23年度第1回がん登録研修会について（資料3）

沖縄県診療情報管理研究会（以下沖研）の研修会と重ならないように日程調整を行い、今年度のがん登録部会の研修会は、5月、7月、11月、3月に行うことが承認された。5月に行う「平成22年度第1回がん登録研修会」は国立がん研究センターの西本寛先生を講師として依頼することが承認された。講義内容は、肺がん概論、肺がん病期分類で、講義時間は講師に一任することになった。

3. 平成23年度がん登録部会委員について（資料4）

支援病院の北部地区医師会病院の委員として、照屋勝委員から宮里貴子委員に変更することが承認された。また、沖縄県の阿波根彩子委員については委員ではなくオブザーバー参加を希望され、今後はオブザーバーとして部会に参加することが承認された。

4. 次回の開催日程について

次回は2011年5月24日（火）15:00から開催することとなった。定例日の第三火曜日15:00からの参加が難しい委員がいることから次回部会にて定例日を検討することとなった。

5. その他

今年度の日本診療情報学会の抄録メ切りが平成23年5月11日であることから、本部会からの抄録を早急に作成する必要があるとの意見があった。